

海洋生命科学専攻 令和3年3月修了 修士学位論文発表会プログラム

「主催：東京海洋大学大学院 海洋生命科学専攻」

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。

開催日時：令和3年2月16日（火）9：00-16:40、2月17日（水）9:00-16:20、2月19日（金）9:00-16:10

開催場所：オンライン開催

※申し込みは下記の受付フォームをご利用ください。

https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=9H0opF1wDEqGtFACUBb38hEu1BrS_slPo63LFV99dC9UNUhBTktHWU9ZOEJMVzJVRUNYMFQ2QThHQi4u

不明な点は、矢澤 ryazawa(a)kaiyodai.ac.jp までご連絡ください。(a)を@に変えて下さい。

令和3年2月16日（火）9:00-16:40

No.	時間	学生氏名	修士論文題目	専攻分野	修士論文審査委員会委員		
					主査	副査	委員
1	9:00-9:20	1951026 タナカ シュウト 田中 柊斗	ニジマス <i>Oncorhynchus mykiss</i> 用飼料における菜種ミールの利用性に関する研究	水圏生物科学	◎ 佐藤 秀一	○ 芳賀 穰	☆ 壁谷 尚樹
					○ 芳賀 穰	☆ 壁谷 尚樹	
2	9:20-9:40	1951035 ハシモト タカノブ 橋本 隆伸	アトランティックサーモン <i>Salmo salar</i> およびニジマス <i>Oncorhynchus mykiss</i> 用低魚粉飼料における微細藻類 <i>Phaeodactylum tricornutum</i> の利用性に関する研究	水圏生物科学	◎ 佐藤 秀一	○ 芳賀 穰	☆ 壁谷 尚樹
					○ 芳賀 穰	☆ 壁谷 尚樹	
3	9:40-10:00	1951004 ウチヤマ ヨシキ 内山 誉志紀	アトランティックサーモン <i>Salmo salar</i> およびニジマス <i>Oncorhynchus mykiss</i> の品質におよぼす飼料原料としての微細藻類 <i>Phaeodactylum tricornutum</i> の影響に関する研究	水圏生物科学	◎ 佐藤 秀一	○ 芳賀 穰	☆ 壁谷 尚樹
					○ 芳賀 穰	☆ 壁谷 尚樹	
4	10:00-10:20	1951057 ワキ ケンタロウ 脇 健太郎	マダイ <i>Pagrus major</i> 用飼料におけるユーグレナ粉末の利用性に関する研究	水圏生物科学	◎ 佐藤 秀一	○ 芳賀 穰	☆ 壁谷 尚樹
					○ 芳賀 穰	☆ 壁谷 尚樹	
5	10:20-10:40	1951016 サカモト ユウキ 坂本 湧紀	クロマグロ稚魚用飼料に及ぼす添加物の効果ならびに過酸化脂質によるコイの筋肉損傷および生体内酸化とタウリンによるその防除効果の検討	水圏生物科学	◎ 芳賀 穰	○ 佐藤 秀一	☆ 壁谷 尚樹
					○ 佐藤 秀一	☆ 壁谷 尚樹	
6	10:40-11:00	1951005 オカダ リョウ 岡田 亮	アユ冷水病抵抗性候補遺伝子を用いた冷水病発生河川の放流アユの解析と天然魚選抜の試み	水圏生物科学	◎ 坂本 崇	○ 遠藤 雅人	☆ 加藤 豪司
					○ 遠藤 雅人	☆ 加藤 豪司	
7	11:00-11:20	1951013 クマザワ ケイイチロウ 熊沢 溪一郎	ヒラメ性決定遺伝子の特定に向けた分子遺伝学的研究	水圏生物科学	◎ 坂本 崇	○ 遠藤 雅人	☆ 山本 洋嗣
					○ 遠藤 雅人	☆ 山本 洋嗣	
8	11:20-11:40	1951023 セキグチ リョウタ 関口 亮太	天然ヒラメにおけるリンホシスチス病抵抗性責任遺伝子同定に向けた相関解析	水圏生物科学	◎ 坂本 崇	○ 遠藤 雅人	☆ 佐野 元彦
					○ 遠藤 雅人	☆ 佐野 元彦	
9	11:40-12:00	1951030 テラウチ シュウマ 寺内 脩真	閉鎖環境下でのクビレズタ <i>Caulerpa lentillifera</i> 栽培における物質挙動に関する基礎的研究	水圏生物科学	◎ 遠藤 雅人	○ 坂本 崇	☆ 佐藤 秀一
					○ 坂本 崇	☆ 佐藤 秀一	
昼休み12:00~13:00							
10	13:00-13:20	1951024 タカハシ ヒロム 高橋 大夢	海洋深層水からの廃水処理に利用可能な低温微生物の分離と諸性状	海洋生物工学	◎ 今田 千秋	○ 小林 武志	☆ 寺原 猛
					○ 小林 武志	☆ 寺原 猛	
11	13:20-13:40	1851042 マエダ アンナ 前田 杏奈	海底表層堆積物からの新規嫌気性細菌の分離法に関する研究	海洋生物工学	◎ 小林 武志	○ 寺原 猛	☆ 今田 千秋
					○ 寺原 猛	☆ 今田 千秋	
12	13:40-14:00	1951022 スズキ ハルカ 鈴木 遥	微生物処理によるマボヤ <i>Halocynthia roretzi</i> 被囊の有効利用と減量に関する検討	海洋生物工学	◎ 小林 武志	○ 寺原 猛	☆ 今田 千秋
					○ 寺原 猛	☆ 今田 千秋	

海洋生命科学専攻 令和3年3月修了 修士学位論文発表会プログラム

13	14:00-14:20	1951038 ヒラノ シオリ 平野 葉	日本近海の海底堆積物から分離された新規嫌気性細菌の同定と諸性状に関する研究	海洋生物学	主査 ◎ 小林 武志 副査 ○ 寺原 猛 ☆ 今田 千秋
14	14:20-14:40	1951042 ホソカワ ジン 細川 仁	ナレズシから分離された枯草菌の産生する抗菌物質の単離 精製および諸性状に関する研究	海洋生物学	主査 ◎ 小林 武志 副査 ○ 寺原 猛 ☆ 今田 千秋
15	14:40-15:00	1951033 ナンポ ユキコ 南保 由貴子	東京湾海底堆積物から分離されたバイオサーファクタント産生細菌の諸性状	海洋生物学	主査 ◎ 寺原 猛 副査 ○ 小林 武志 ☆ 今田 千秋
16	15:00-15:20	1951047 ミタ コウヘイ 三田 昂平	Morphological and genetic diversity of Spectrunculus fish (pudgy cuskeels) collected from Suruga Bay (駿河湾産ソコボウズ類の形態および遺伝的多様性に関する研究)	生物資源学	主査 ◎ 藤原 義弘 副査 ○ 土田 真二 ☆ 吉田 尊雄
17	15:20-15:40	1951029 ツチヤ ミチナリ 土谷 道成	定置網における金庫網の適正な設置位置に関する研究	生物資源学	主査 ◎ 秋山 清二 副査 ○ 塩出 大輔 ☆ 胡 夫祥
18	15:40-16:00	1951044 マツモト アキオ 松本 明士	定置網の目合と漁獲物の胴周長との関係に関する研究	生物資源学	主査 ◎ 秋山 清二 副査 ○ 塩出 大輔 ☆ 胡 夫祥
19	16:00-16:20	1951050 ムラカミ サキコ 村上 祥子	計測機器の外部装着が魚類の遊泳能力に及ぼす影響	生物資源学	主査 ◎ 秋山 清二 副査 ○ 塩出 大輔 ☆ 胡 夫祥
20	16:20-16:40	1951048 ミハラ セイヤ 三原 聖也	メカジキを対象とする浮延縄における釣針代替漁具の漁獲特性に関する研究	生物資源学	主査 ◎ 塩出 大輔 副査 ○ 胡 夫祥 ☆ 東海 正

令和3年2月17日（水）9:00-16:20

No.	時間	学生氏名	修士論文題目	専攻分野	修士論文審査委員会委員
21	9:00-9:20	1951001 アキバ ヨウスケ 秋庭 陽介	不飽和化酵素遺伝子変異ゼブラフィッシュの表現型解析	水圏生物科学	主査 ◎ 吉崎 悟朗 副査 ○ 矢澤 良輔 ☆ 壁谷 尚樹
22	9:20-9:40	1951002 アマノ ユウイチ 天野 雄一	代理親魚技術を用いたムサシトミヨ保全に向けた基礎的研究	水圏生物科学	主査 ◎ 吉崎 悟朗 副査 ○ 矢澤 良輔 ☆ 廣野 育生
23	9:40-10:00	1951046 ミズタニ ハナカ 水谷 波南香	代理親魚技法を用いたクニマス生産の効率化	水圏生物科学	主査 ◎ 吉崎 悟朗 副査 ○ 矢澤 良輔 ☆ 坂本 崇
24	10:00-10:20	1851027 シゲナガ コウヘイ 重永 航平	ニジマス精原細胞培養条件の最適化に関する研究	水圏生物科学	主査 ◎ 吉崎 悟朗 副査 ○ 矢澤 良輔 ☆ 坂本 崇
25	10:20-10:40	1951025 タカハシ モモ 高橋 もも	ニジマスの生殖幹細胞標識を目指した基盤技術の開発	水圏生物科学	主査 ◎ 吉崎 悟朗 副査 ○ 矢澤 良輔 ☆ 壁谷 尚樹

海洋生命科学専攻 令和3年3月修了 修士学位論文発表会プログラム

26	10:40-11:00	1951006 カミオ シゲハル 神尾 茂治	クロマグロ代理親魚技法における宿主精液からの正確かつ高感度なクロマグロ精子検出法の開発	水圏生物科学	主査	◎ 吉崎 悟朗
					副査	○ 矢澤 良輔 ☆ 壁谷 尚樹
27	11:00-11:20	1951017 サノ フミナ 佐野 文菜	東日本におけるアマノリ属（紅藻，ウシケノリ目）異質倍数体の探索と生長特性	水圏生物科学	主査	◎ 二羽 恭介
					副査	○ 藤田 大介 ☆ 坂本 崇
28	11:20-11:40	1951020 スギナカ ワタル 杉中 渉	神奈川県城ヶ島地先におけるムラサキウニ除去後の海藻植生の変化	水圏生物科学	主査	◎ 藤田 大介
					副査	○ 二羽 恭介 ☆ 團 重樹
29	11:40-12:00	1951036 ハシモト トモアキ 橋本 友明	千葉県館山市坂田地先産アメフラシ類の潮間帯出現時期と食性	水圏生物科学	主査	◎ 藤田 大介
					副査	○ 二羽 恭介 ☆ 團 重樹
昼休み12:00~13:00						
30	13:00-13:20	1951019 ショウ ジュンキン 蔣 淳欽	Effect of β -sitosterol and cholesterol on the immune response of head kidney leukocytes isolated from Nile tilapia <i>Oreochromis niloticus</i> (β -シトステロールおよびコレステロールがティラピア頭腎白血球の免疫応答に及ぼす影響)	海洋生物工学	主査	◎ 舞田 正志
					副査	○ 片桐 孝之 ☆ 二見 邦彦 ☆ 芳賀 穰
31	13:20-13:40	1951039 ヒロセ キョウコ 廣瀬 杏子	アロ抗原移植を用いた <i>Edwardiella tarda</i> に対するアジュバントについての検証	海洋生物工学	主査	◎ 片桐 孝之
					副査	○ 二見 邦彦 ☆ 舞田 正志
32	13:40-14:00	1951055 ロ ケン 呂 健	クルマエビのピブリオ病の種判別をするためのPCR法の開発に関する研究	海洋生物工学	主査	◎ 廣野 育生
					副査	○ 近藤 秀裕 ☆ 片桐 孝之
33	14:00-14:20	1951009 キクモト タツヨシ 菊本 辰善	ヒラメエドワジエラ症に対するワクチンのアジュバントに関する研究	海洋生物工学	主査	◎ 近藤 秀裕
					副査	○ 廣野 育生 ☆ 佐野 元彦
34	14:20-14:40	1951028 タナベ ユウキ 田邊 勇樹	生物工学的手法によるブリ類ハダムシ症に対する新規ワクチン抗原の探索	海洋生物工学	主査	◎ 近藤 秀裕
					副査	○ 廣野 育生 ☆ 佐野 元彦
35	14:40-15:00	1951040 フジムラ タクミ 藤村 拓実	ファージディスプレイ法を利用したドチザメ <i>Triakis scyllium</i> 免疫グロブリンの性状解析	海洋生物工学	主査	◎ 近藤 秀裕
					副査	○ 廣野 育生 ☆ 矢澤 良輔
36	15:00-15:20	1951056 ワカヤマ ダイスケ 若山 大介	抗生殖腺刺激ホルモン受容体抗体によるニジマスの性成熟阻害に関する研究	海洋生物工学	主査	◎ 近藤 秀裕
					副査	○ 廣野 育生 ☆ 矢澤 良輔
37	15:20-15:40	1951043 マチダ ユウイチロウ 町田 雄一朗	ニシキゴイ抗酸菌症のPCR診断法と抗菌剤治療法の開発	水圏生物科学	主査	◎ 加藤 豪司
					副査	○ 佐野 元彦 ☆ 廣野 育生
38	15:40-16:00	1951054 ヨシハラ コウヘイ 吉原 康平	浸漬ワクチン投与により誘導される抗原特異的B細胞の組織分布	水圏生物科学	主査	◎ 加藤 豪司
					副査	○ 佐野 元彦 ☆ 近藤 秀裕
39	16:00-16:20	1951053 ヤマモト マナエ 山本 真奈江	ICP-MSを用いる海藻類の微量元素の分析法に関する研究	海洋生物工学	主査	◎ 山下 倫明
					副査	○ 廣野 育生 ☆ 鈴木 敏之

海洋生命科学専攻 令和3年3月修了 修士学位論文発表会プログラム
2月19日(金) 9:00-16:10

No.	時間	学生氏名	博士論文題目	専攻分野	修士論文審査委員会委員	
40	9:00-9:20	1951012 キノシタ タクミ 木下 拓海	ヒライソガニの体色変異に関する研究	生物資源学	主査	◎ 濱崎 活幸
					副査	○ 團 重樹 ☆ 横田 賢史
41	9:20-9:40	1951041 ボウ エイトウ 房 英東	イソカニダマシの鋏脚の自切による被食回避に関する研究	生物資源学	主査	◎ 濱崎 活幸
					副査	○ 團 重樹 ☆ 横田 賢史
42	9:40-10:00	1951049 ムナカタ ケイタ 宗形 恵汰	ヌマエビ類の個体群動態および体型の性差 種間差に関する研究	生物資源学	主査	◎ 濱崎 活幸
					副査	○ 團 重樹 ☆ 横田 賢史
43	10:00-10:20	1951007 カワカミ ヨウヘイ 川上 陽平	ヌマエビ科幼生の飢餓耐性に及ぼす水温と塩分の影響に関する研究	生物資源学	主査	◎ 濱崎 活幸
					副査	○ 團 重樹 ☆ 横田 賢史
44	10:20-10:40	1951014 コバヤシ シンノスケ 小林 慎之介	ヌマエビ類の温度及び塩分耐性に関する研究	生物資源学	主査	◎ 濱崎 活幸
					副査	○ 團 重樹 ☆ ストルスマン カルロス
45	10:40-11:00	1951032 ナカモト ヨシオ 中本 義大	ヤマトヌマエビとトゲナシヌマエビの繁殖に及ぼす水温の影響に関する研究	生物資源学	主査	◎ 濱崎 活幸
					副査	○ 團 重樹 ☆ ストルスマン カルロス
46	11:00-11:20	1951027 タナカ モトキ 田中 元貴	オニヌマエビ類の初期生活期における環境応答に関する研究	生物資源学	主査	◎ 濱崎 活幸
					副査	○ 團 重樹 ☆ ストルスマン カルロス
47	11:20-11:40	1951034 ニシモト ソウタ 西本 壮汰	アメリカザリガニの人工繁殖に関する生態学的研究	生物資源学	主査	◎ 濱崎 活幸
					副査	○ 團 重樹 ☆ ストルスマン カルロス
48	11:40-12:00	1951052 ヤマシタ カズヒロ 山下 和宏	養成アルテミアを用いたマダコの種苗生産技術に関する研究	生物資源学	主査	◎ 團 重樹
					副査	○ 濱崎活幸 ☆ ストルスマン カルロス
49	12:00-12:20	1951018 シバサキ ショウダイ 柴崎 翔大	マダコの着底に伴う行動変化と基質選好性に関する研究	生物資源学	主査	◎ 團 重樹
					副査	○ 濱崎 活幸 ☆ 横田 賢史
昼休み 12:20~13:30						
50	13:30-13:50	1951021 スギモト ユウスケ 杉本 祐将	小笠原諸島におけるアオウミガメ <i>Chelonia mydas</i> の産卵浜の特性と幼体の性比推定	生物資源学	主査	◎ ストルスマン カルロス
					副査	○ 山本 洋嗣 ☆ 横田 賢史
51	13:50-14:10	1951051 モモセ レイ 百瀬 嶺	都市河川 落合川におけるホトケドジョウ <i>Lefua echigonia</i> を主とした餌利用実態解明	生物資源学	主査	◎ 横田 賢史
					副査	○ ストルスマン カルロス ☆ 山本 洋嗣
52	14:10-14:30	1951015 コヤマ ヒロト 小山 浩杜	ペヘレイの温度依存型性決定機構におけるアロマターゼ遺伝子 <i>cyp19a1a</i> の発現制御機構に関する基礎的研究	生物資源学	主査	◎ 山本 洋嗣
					副査	○ ストルスマン カルロス ☆ 横田 賢史
53	14:30-14:50	1951031 ナガセ シオン 永瀬 潮音	ペヘレイの遺伝型及び温度依存型性決定機構における生殖腺発現遺伝子の比較解析	生物資源学	主査	◎ 山本 洋嗣
					副査	○ ストルスマン カルロス ☆ 横田 賢史

海洋生命科学専攻 令和3年3月修了 修士学位論文発表会プログラム

54	14:50-15:10	1951037 ハヤカワ シンペイ 早川 晋平	Y染色体の保有数がペヘレイ性決定機構の温度感受性に与える影響	生物資源学	主査	◎ 山本 洋嗣
					副査	○ ストルスマン カルロス ☆ 横田 賢史
55	15:10-15:30	1951045 マツモトヒロト 松本 浩杜	野生環境下におけるギンイソイワシ仔稚魚の成長と生殖腺性分化に関する研究	生物資源学	主査	◎ 山本 洋嗣
					副査	○ ストルスマン カルロス ☆ 横田 賢史
56	15:30-15:50	1951003 イトウ サクラ 伊藤 さくら	元素 安定同位体分析によるクサカリツボダイ <i>Pentaceros wheeleri</i> の着底メカニズムに関する基礎的研究	生物資源学	主査	◎ 米崎 史郎
					副査	○ ストルスマン カルロス ☆ 山本 洋嗣
57	15:50-16:10	1651016 ゴ ガイエン 呉 凱恩	Theoretical analysis of climate change effects on the demographics of fish populations with mixed environmental and genotypic sex determination (遺伝型及び温度依存型性決定機構を併せ持つ魚類集団のデモグラフィックスに及ぼす気候変動の影響に関する数理的解析)	生物資源学	主査	◎ ストルスマン カルロス
					副査	○ 山本 洋嗣 ☆ 横田 賢史

食機能保全科学専攻 学位論文公開発表会 プログラム

主催:食機能保全科学専攻

開催日時:令和3年2月17日(水)および令和3年2月19日(木)

開催方法/場所: オンライン (Webex)

参加登録方法: 以下のサイトで登録してください。

2月17日と2月19日では登録サイトが異なります。

参加する日に対応したURLで登録をして下さい。両日参加する際は、両方で登録が必要です。

2月17日分: <https://bit.ly/2XxV1ek>

2月19日分: <https://bit.ly/3nz3d8n>

2月17日分



2月19日分



令和3年2月17日(水)実施分

開始時間	終了時間	論文題目	学籍番号	年次	氏名	主査	副査	副査 (副指導教官以外1)
9:00	9:20	ニューラルネットワークを用いた微生物生残挙動のモデル化	1752005	M2	伊藤 幹	萩原 知明	柴田 真理朗	酒井 昇
9:20	9:40	クエン酸およびシュウ酸処理がタンパク質のステンレス鋼への付着挙動に及ぼす影響の検討	1952001	M2	石川 加純	萩原 知明	柴田 真理朗	渡邊 学
9:40	10:00	炊飯米の老化に及ぼす共存物質の影響	1952005	M2	印南 秋	萩原 知明	柴田 真理朗	福岡美香
10:00	10:20	蛍光指紋を用いた食品由来成分の検知および定量法の検討	1952008	M2	岡田 可偉	柴田 真理朗	萩原 知明	酒井昇
10:20	10:40	蛍光指紋および画像解析による水産物の品質評価法の開発	1952011	M2	加藤 綾菜	柴田 真理朗	萩原 知明	高橋希元
10:40	11:00	高速せん断処理による高アミロース米タンパク質の分子変化と物理的特性の関係	1952016	M2	塩賀 彬裕	柴田 真理朗	萩原 知明	福岡美香
11:00	11:20	乳酸発酵した食用藍藻類の機能性に関する研究	1852026	M2	谷口 実優	久田 孝	木村 凡	高橋肇
11:20	11:40	加熱変性リゾチームが有するノロウイルス不活化活性部位の抽出と不活化条件の検討	1852043	M2	山口 奈月	高橋 肇	木村 凡	久田孝
11:40	12:00	食肉加工ラインにおける微生物の分布と汚染源追跡	1952014	M2	近藤 晏琳	高橋 肇	久田 孝	木村 凡
		お昼休み						
13:00	13:20	加熱変性リゾチームを用いた水産物汚染病原体の制御に関する研究	1952025	M2	築舘 加奈子	高橋 肇	久田 孝	木村 凡

食機能保全科学専攻 学位論文公开发表会 プログラム

13:20	13:40	乳酸菌による食品工場の汚染実態調査、及びMALDI-TOF MSを用いた <i>Leuconostoc</i> 属分離株のタイピングに関する研究	1952029	M2	仲野 怜央	高橋 肇	久田 孝	木村 凡
13:40	14:00	チルド温度帯におけるプライマルカットビーフ中の 微生物叢の変遷に関する研究	1952035	M2	水野 由梨	高橋 肇	久田 孝	木村 凡
14:00	14:20	菓子製品の冷凍技術高度化に関する研究	1952006	M2	江幡 風音	鈴木 徹	福岡 美香	李 潤珠
14:20	14:40	刺身用生甲殻類の冷凍流通時における黒変現象とその防止に関する研 究	1952022	M2	田村 祐太郎	鈴木 徹	福岡 美香	李 潤珠
		休憩						
15:00	15:20	非ブランチング凍結野菜の品質に関する研究	1952033	M2	本田 梨香子	鈴木 徹	福岡 美香	李 潤珠
15:20	15:40	マアジのポストハーベスト処理が凍結開始点温度に及ぼす影響	1952009	M2	小関 彬弘	渡邊 学	鈴木 徹	大迫一史
15:40	16:00	冷蔵・冷凍で輸送されるノルウェーサーモンの環境負荷と品質	1952024	M2	崔 未来	渡邊 学	福岡 美香	鈴木 徹
16:00	16:20	凍結前予冷が凍結時間と氷結晶生成に及ぼす影響	1952034	M2	前川 龍之介	渡邊 学	鈴木 徹	萩原知明
16:20	16:40	Study on isolation and characteration of collagen and its peptides with hyaluronidase inhibition activity derived from fish skin (魚皮由来コラーゲンおよびコラーゲンペプチドのヒアルロニダーゼ阻害活性に関する研究)	1952012	M2	韓 秋煜	石崎 松一郎	小山 智之	小山寛喜
16:40	17:00	沖縄県産アオリイカのイカスミの女性ホルモン様作用について	1952013	M2	小田部 里紗	長阪 玲子	小山 智之	後藤 直宏

食機能保全科学専攻 学位論文公開発表会 プログラム

令和3年2月19日(金)実施分

開始時間	終了時間	論文題目	学籍番号	年次	氏名	主査	副査	副査 (副指導教官以外1)
9:00	9:20	蛍光色素含有油滴の混合挙動の観察によるナノエマルジョンの安定性評価	1952002	M2	石田 達也	松川真吾	高橋希元	福岡美香
9:20	9:40	小麦粉焼成菓子の吸湿過程におけるクリスピー感の減少と分子運動性変化に関する研究	1952026	M2	津村 知樹	松川真吾	高橋希元	福岡美香
9:40	10:00	大変形動的粘弾性測定による混合カラギーナンゲルの相分離構造の解明	1952032	M2	福田 玄	松川真吾	高橋希元	福岡美香
10:00	10:20	ニューラルネットワークを利用した オープン焼成時間の予測と火力制御による最適化	1952028	M2	中根 哲	酒井 昇	福岡 美香	柴田 真理朗
10:20	10:40	オープン加熱における肉類焼成の最適調理に関する研究	1952038	M2	湯野 翔太	酒井 昇	福岡 美香	渡邊 学
10:40	11:00	魚焼成調理の最適化に向けた熟物質移動・反応の解析	1952003	M2	磯見 健太	福岡 美香	酒井 昇	萩原知明
11:00	11:20	水産物燻製品製造時における香気成分の解析	1952019	M2	鈴木 進之介	福岡 美香	酒井 昇	大迫一史
11:20	11:40	酵素溶液含浸水産物調理における反応の最適化	1952036	M2	柳 和輝	福岡 美香	酒井 昇	濱田奈保子
11:40	12:00	脂肪酸上の炭素存在位置の違いが体燃焼性に与える影響に関する研究	1952010	M2	小野塚 彩	後藤 直宏	嶋倉 邦嘉	長阪玲子
		休憩						
13:00	13:20	食用油の酸化劣化におけるエポキシおよびヒドロキシ脂肪酸の生成に関する研究	1952030	M2	西村 和也	後藤 直宏	嶋倉 邦嘉	小山智之
13:20	13:40	DHA結合型ホスファチジルコリン位置異性体の高純度精製法の確立	1952031	M2	能祖 和春	後藤 直宏	嶋倉 邦嘉	小山寛喜
13:40	14:00	3-モノクロプロパン-1,2-ジオール脂肪酸エステルおよびグリシドール脂肪酸エステル間の相互変換評価	1952037	M2	山崎 花織	後藤 直宏	嶋倉 邦嘉	小山智之

食機能保全科学専攻 学位論文公開発表会 プログラム

14:00	14:20	奇数鎖脂肪酸の代謝に関する研究	1952039	M2	吉永 彩乃	後藤 直宏	嶋倉 邦嘉	長阪 玲子
14:20	14:40	<i>in vivo</i> におけるゾナロールの肝GST誘導作用について	1952040	M2	劉 芸	小山 智之	後藤 直宏	長阪 玲子
		休憩						
15:00	15:20	エルゴチオネインの麴による生産に関する研究	1952021	M2	谷田 陵	小山 智之	長阪 玲子	大迫一史
15:20	15:40	エルゴチオネインのニジマス筋肉死後変化に及ぼす影響	1952004	M2	伊藤 雅治	小山 智之	長阪 玲子	大迫一史
15:40	16:00	サケ科Hpal familyの配列解析とサケ科魚類検出法への応用	1952015	M2	崔 巍	黒瀬 光一	嶋倉 邦嘉	小山寛喜
16:00	16:20	Development of multilayer film from Alaska pollack <i>Theragra chalcogramma</i> surimi and bovine bone gelatin (スケトウダラ <i>Theragra chalcogramma</i> すり身と牛骨ゼラチンを用いた多層フィルムの開発)	1952017	M2	蔣 金勇	大迫 一史	高橋 希元	柴田 真理朗
16:20	16:40	ウツボ <i>Gymnothorax kidako</i> の臭気に関する研究	1952020	M2	高橋 早紀	大迫 一史	高橋 希元	福岡 美香

海洋資源環境学専攻 海洋生物学専攻分野 修士学位論文公開発表会 プログラム

主催：海洋資源環境学専攻 海洋生物学専攻分野

開催日時：令和3年2月19日（金）

開催方法/場所：Cisco Webex利用 ※申し込みは各主指導教員まで。

時間	論文題目	学籍番号	氏名	主指導教員	備考
08:50~09:00	集合・確認・諸注意				
09:00~09:20	鯨類を対象とした環境DNA分析の基礎的研究	1953010	漆間 ほのか	村瀬 弘人	
09:20~09:40	八丈島に來遊するザトウクジラ <i>Megaptera novaeangliae</i> の來遊実態と海洋環境要因(2016-2020)	1953051	村田 陽菜	村瀬 弘人	
09:40~10:00	館山湾河口域におけるイガイ類2種の繁殖生態	1953034	諏訪 大河	土屋 光太郎	
10:00~10:20	東京湾盤洲干潟のアマモ葉上におけるワレカラ類の分布生態	1953028	佐藤 吉	土屋 光太郎	
10:20~10:40	東京湾の湾奥に再生された干潟域（大森ふるさとの浜辺公園）に生息するマハゼの摂餌生態	1953031	島村 真珠子	河野 博	
10:40~11:00	東京湾の湾奥に再生された干潟域（大森ふるさとの浜辺公園）に生息するスミウキゴリとウキゴリの出現様式と食性	1953005	石川 新	河野 博	
11:00~11:20	東京湾の湾奥に再生された干潟域（大森ふるさとの浜辺公園）に生息するエドハゼの形態発育と食性	1953006	岩原 聡真	河野 博	
11:20~11:40	東京湾奥部に位置する人工潟湖（新浜湖）の魚類相 ～小型定置網による調査から	1953029	澤井 伶	河野 博	
11:40~12:00	東京湾奥部に位置する人工潟湖（新浜湖）の魚類相 ～小型地曳網による調査から	1953043	中野 航平	河野 博	
12:00~13:00	休憩				
13:00~13:20	生態的特性の異なる基質産卵魚3種における配偶システムと性の可塑性に関する研究	1953018	尾山 匠	須之部 友基	
13:20~13:40	千葉県館山湾におけるベラ科カミナリベラ <i>Stethojulis interrupta terina</i> の繁殖生態	1953048	古川 洋之介	須之部 友基	

海洋資源環境学専攻 海洋生物学専攻分野 修士学位論文公開発表会 プログラム

13:40~14:00	南大洋ビンセネス湾沖（インド洋セクター）におけるサルパ <i>Salpa thompsoni</i> の夏季の摂餌選択性	1953038	田中 藍子	茂木 正人	
14:00~14:20	南大洋インド洋セクター表層における動物プランクトン群集の年変動（2013-2017年）	1953042	永井 汰門	茂木 正人	
14:20~14:40	南大洋インド洋セクターにおけるソコイワシ科魚類 <i>Bathylagus antarcticus</i> の個体発生的な食性変化	1953052	安田 海来	茂木 正人	
14:40~15:00	サカサクラゲの餌料に関する研究	1953022	岸 香佑	石井 晴人	
15:00~15:20	メソプランクトン個体数密度の空間的分布 時間変動測定のための高速個体数測定装置の開発	1953025	瀨瀨 博雅	田中 祐志	
15:20~15:40	相模湾-黒潮域に棲息するシネココッカス <i>Synechococcus</i> の色素タイプおよびその光の色に対する増殖速度応答	1953020	川上 萌	片野 俊也	
15:40~16:00	珪藻 <i>Cerataulina pelagica</i> を宿主とする寄生性微小鞭毛虫 <i>Pirsonia</i> sp.の感染の季節変動およびそれに対する温度の影響	1953044	西山 健太	片野 俊也	
16:00~16:20	東京湾における植物プランクトンの増殖速度に対する栄養塩制限	1953047	日高 瞭	片野 俊也	
16:20~16:40	野外における褐藻アミジグサの成熟胞子体優占に関する生理生態学的研究	1953002	新井 嵩博	鈴木 秀和	
16:40~17:00	日本産クチビルマガイケイソウ属 <i>Seminavis</i> の形態分類学的研究	1953027	笹野 凧	鈴木 秀和	
17:00~17:20	管棲珪藻の群体形成過程解明に向けた基礎的研究	1953050	牟田神東 陽奈	鈴木 秀和	
17:20~17:40	海鳥を介した珪藻の伝搬メカニズムの解明	1953055	吉岡 夢生	鈴木 秀和	

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。

※一人当たりの持ち時間は20分間、発表15分、質疑応答5分。

※ベルについて:12分経過で1鈴、15分経過で2鈴、20分経過で3鈴。

海洋資源環境学専攻 水圏環境化学専攻分野 学位論文発表会 プログラム

主催：海洋資源環境学専攻 水圏環境化学専攻分野

開催日時：令和 3年 2月15日（月）～ 2月16日（火）

開催方法/場所：Cisco Webex利用 ※申し込みは山中（t.yamanaka@kaiyodai.ac.jp）まで

令和3年2月15日（月）

時間	論文題目	学籍番号	年次	氏名	主指導教員	備考
10:00-10:15	ラン藻抽出物中における低分子化合物の探索研究	1953001	2	阿部 達郎	永井 宏史	
10:15-10:30	ラン藻に由来する新規アプリシアトキシンなどの化学的研究	1953003	2	井口 花音	永井 宏史	
10:30-10:45	アルギン酸カルシウム一液型凝集剤の開発と調製方法の最適化	1953004	2	石井 彩斗	神尾 道也	
10:45-11:00	モミノキフトヤギの有する生理活性物質の探索研究	1953030	2	芝原 知弘	神尾 道也	
11:00-11:15	高度好熱菌ポリアミン合成系の <i>in vitro</i> 再構成系を用いる解析	1953007	2	上田 隆一郎	石田 真巳	
11:15-11:30	関東周辺海域の中層における生分解性ポリマー分解細菌の分布および分解特性	1953045	2	橋渡 夏衣	石田 真巳	
11:30-11:45	水再生センター流出水における大腸菌群生残問題の解決に向けた研究	1953037	2	田代 悠介	岡井 公彦	
11:45-12:00	魚類のためのグルコース測定用フレキシブルバイオセンサの基礎的研究	1953009	2	宇部 ゆきの	遠藤 英明	
12:00-12:15	魚類のためのグルコースバイオセンサにおける酵素固定化法および電極材料の探索に関する研究	1953053	2	山本 航大	遠藤 英明	

海洋資源環境学専攻 水圏環境化学専攻分野 学位論文発表会 プログラム

令和3年2月16日(火)

時間	論文題目	学籍番号	年次	氏名	主指導教員	備考
10:00-10:15	かつお節出汁殻からの有用成分抽出に及ぼす亜臨 界水処理温度の影響	1953032	2	庄司 真子	任 恵峰	
10:15-10:30	都市型感潮域底質における生物への毒性影響とそ の変化に関する調査	1953036	2	関野 晴樹	任 恵峰	
10:30-10:45	溶媒抽出法を用いたESI-MSによる2価鉄の定量法 の開発と海水試料への応用	1953016	2	小田 恭平	高橋 美穂	
10:45-11:00	北極海カナダ海盆における海洋酸性化の有殻翼足 類への影響	1953035	2	瀬尾 将孝	川合 美千代	
11:00-11:15	ケープダンレー底層水の形成と輸送に関する炭素 循環	1953039	2	田村 尚之	川合 美千代	
11:15-11:30	西部北太平洋亜熱帯域における各形態窒素 リン の季節変動	1953026	2	佐々木 里樹	橋濱 史典	

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。

海洋資源環境学専攻 環境システム科学専攻分野 修士学位論文発表会 プログラム

主催：海洋資源環境学専攻 環境システム科学専攻分野

開催日時：令和3年2月19日（金）

開催方法/場所：Cisco Webex利用 ※専攻外の方の聴講の申し込みは北出（ykitade@kaiyodai.ac.jp）まで

時間	論文題目	学籍番号	年次	氏名	主指導教員	備考
13:00-13:20	偏光を利用したマイクロプラスチックの測定に関する研究	1953013	2	大沼 美里	荒川 久幸	
13:20-13:40	New detection method of microplastics by Coumarin6 staining (クマリン6を用いたマイクロプラスチックの検出手法の研究)	1953041	2	程 一鵬	荒川 久幸	
13:40-14:00	酸素安定同位体比を用いた気候変動研究における質量分析法と中赤外レーザー吸収分光法の比較	1953012	2	大塚 大河	豊福 高志	
14:00-14:20	相模湾におけるヨシキリザメの漁獲傾向に関する研究	1953014	2	岡田 洋朗	根本 雅生	
14:40-15:00	ビンセネス湾における南極底層水形成過程に関する数値実験	1953008	2	植松 和貴	北出 裕二郎	
15:00-15:20	Study on prediction of SST and SSS in Southern Ocean by multi-layers ConvLSTM model (多層ConvLSTMモデルによる南極海の海面水温および海面塩分の予測に関する研究)	1953021	2	魏 梓桐	北出 裕二郎	
15:20-15:40	結氷期における海氷厚推定アルゴリズム	1953054	2	山本 純平	島田 浩二	
15:40-16:00	環境配慮型振源を用いた浅海域向け同時発振反射法地震探査における最適発振波形の検討	1953015	2	小川 真由	鶴 哲郎	

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。

海洋資源環境学専攻 環境テクノロジー学専攻分野 修士学位論文公開発表会 プログラム

主催：海洋資源環境学専攻 環境テクノロジー学専攻分野

開催日時：令和3年2月18日（木）

開催方法/場所：Cisco Webex利用 ※専攻外の方の聴講申し込みは岡安（okayasu@kaiyodai.ac.jp）まで

令和3年2月18日（木）

時間	論文題目（仮）	学籍番号	年次	氏名	主指導教員	備考
13:00 - 13:20	Fundamental study of ore lifting technology with carrier material (mixture of viscous fluid and fine particles) for deep sea mining (キャリア物質（粒状体を含む粘性流動体）を用いた海底鉱物資源の揚鉱方法に係る基礎的検討)	1953019	M2	折田 清隆	谷 和夫	
13:20 - 13:40	寒冷地における空気熱源ヒートポンプの熱出力特性	1853011	M2	近藤 万太郎	亀谷 茂樹	
13:40 - 14:00	ZEB建築物における熱源システムの最適制御に関する研究	1853028	M2	中村 亮介	亀谷 茂樹	
14:00 - 14:20	Sentinel-1搭載合成開口レーダを用いた日本沿岸の海上風推定に係る手法の検討	1953011	M2	大久保 諒也	池谷 毅	
14:20 - 14:40	歩行実験に基づく津波避難誘導標識の設置間隔の検討	1953017	M2	小野 天椰	岡安 章夫	
14:40 - 15:00	沿岸域の高潮・洪水同時浸水災害における避難対策と避難所の再配置に関する研究	1953024	M2	高 孝成	岡安 章夫	
15:00 - 15:20	ビデオ画像解析手法を用いた船舶からの海面漂流ごみ観測の試み	1953033	M2	鈴木 稜平	内田 圭一	

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。

海洋管理政策学専攻 学位論文発表会 プログラム

主催：海洋管理政策学専攻

開催日時：2021年2月16日(火)，17日(水)

開催方法：Cisco WebexもしくはZoomを利用予定（本専攻関係者以外で参加を希望される方は，2月9日までに教務委員の鈴木直樹(naoki@kaiyodai.ac.jp)にご連絡下さい）

2021年2月16日(火)

No.	発表時間	学生氏名	修士論文題目	専攻分野	修士論文審査委員会委員		
					主査	副査	委員
1	09:30-09:55	1957007 キフジ タクヤ 木藤 拓也	日常的に自覚される自律神経系の不調は動揺病発症の危険因子となりうるか	海洋環境文化学	主査 副査	◎ ○ ☆	千足 耕一 佐々木 剛 大石 太郎
2	09:55-10:20	1957001 イセ アキヒコ 伊勢 暁彦	無人運航船に関する法体制への一考察	海洋政策学	主査 副査	◎ ○ ☆	稲本 守 佐々木 剛 森下 丈二
3	10:20-10:45	1957002 イソガイ マリコ 磯貝 まり子	高度回遊性魚種の保護と国際管理 -大西洋クロマグロとサメ類を巡る国際動向を例に-	海洋政策学	主査 副査	◎ ○ ☆	稲本 守 佐々木 剛 森下 丈二
4	10:45-11:10	1957016 モリ ショウタ 森 翔太	水中文化遺産の取り扱いに関する研究 - 最近の国家実行を通じて-	海洋政策学	主査 副査	◎ ○ ☆	稲本 守 佐々木 剛 森下 丈二
5	11:10-11:35	1957003 オカ ナオキ 岡 直樹	商業捕鯨再開後の捕鯨産業が抱える課題と今後の存立条件について～鯨食普及と採算性のジレンマに対する考察～	海洋政策学	主査 副査	◎ ○ ☆	森下 丈二 婁 小波 松井 隆宏
6	13:00-13:25	1957009 サカネ アカリ 坂根 朱華里	「もうかる漁業創設支援事業」による漁業構造改革の方向性とその課題 -遠洋かつお まぐろ漁業を事例として-	海洋政策学	主査 副査	◎ ○ ☆	馬場 治 婁 小波 工藤 貴史
7	13:25-13:50	1957006 キヒラ タクミ 紀平 任益	水産物を利用した郷土料理の普及啓発活動に関する研究 -広島県海田町の郷土料理さつまを事例として-	海洋政策学	主査 副査	◎ ○ ☆	工藤 貴史 馬場 治 婁 小波
8	13:50-14:15	187026 バア アリオ BA ALIOU	ANALYSIS OF STAKEHOLDERS SATISFACTION REGARDING FISHING PORT MANAGEMENT IN SENEGAL :TARGETING THE FOUR ARTISANAL FISHING PORTS(セネガルにおける漁港管理に関する利害関係者の満足度分析 - 4つの零細漁港を事例として-)	海洋政策学	主査 副査	◎ ○ ☆	婁 小波 馬場 治 川辺 みどり

海洋管理政策学専攻 学位論文発表会 プログラム

9	14:15-14:40	1957008 ゴウ 呉 俣	中国における水産物電子商取引のラストマイル配送サービスの品質評価に関する研究	海洋政策学	主査 副査	◎ ○ ☆	婁 小波 中原 尚知 大石 太郎
10	14:40-15:05	1957013 ハヤシ ヌユンス ケ 林 駿佑	漁港の有効活用方策としての海面釣堀の可能性に関する研究	海洋政策学	主査 副査	◎ ○ ☆	婁 小波 工藤 貴史 中原 尚知
11	15:05-15:30	1957019 リン チ 林 琦	日本マグロ養殖業の展開と産地間競争 ―産業組織論からのアプローチ―	海洋政策学	主査 副査	◎ ○ ☆	婁 小波 川辺 みどり 松井 隆宏

2021年2月17日(水)

12	10:00-10:25	1957012 タムラ レン 田村 蓮	Delay-Difference Modelを用いたマアジ対馬暖流系群の資源評価に関する統計的研究	海洋利用管理 学	主査 副査	◎ ○ ☆	北門 利英 田中 栄次 鈴木 直樹
13	10:25-10:50	1957005 オザキ リョウ 尾崎 僚	卵巣組織切片観察による伊豆諸島海域におけるマサバの産卵生態の解明	海洋利用管理 学	主査 副査	◎ ○ ☆	鈴木 直樹 田中 栄次 北門 利英
14	10:50-11:15	1957017 ヤマモト アヤ 山本 菖	標識放流調査による沖縄県八重山諸島黒島沿岸域におけるレモンザメの行動生態の解明	海洋利用管理 学	主査 副査	◎ ○ ☆	鈴木 直樹 北門 利英 田中 栄次
15	11:15-11:40	1957004 オカサキ ヒアノ キ 岡崎 秀明	マルチビーム水中データを用いたメタンガス湧出測量法確立の為の基礎研究 ～体積後方散乱強度データの統合法検討～	海洋利用管理 学	主査 副査	◎ ○ ○ ☆	鶴我 佳代子 鈴木 直樹 近藤 逸人 青山 千春
16	11:40-12:05	1957010 シマダ マサミ 嶋田 大海	ハイドレート膜気泡の成長と減圧に伴う形状変化	海洋利用管理 学	主査 副査	◎ ○ ○ ☆	鶴我 佳代子 鈴木 直樹 近藤 逸人 青山 千春

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。

主催：海洋システム工学専攻 サイバネ系
 開催日時：令和2年2月16日（火）

時間	司会	論文題目	学籍番号	年次	氏名	主指導教員	副査
9:00-9:30 Webex hosted by Prof. Ohshima	清水 悦郎	広帯域放射伝達モデルMstrnX の精度向上の検討	1954018	M2	河 炫朱	関口 美保	村山 利幸 吉岡 諭
9:30-10:00 Webex hosted by Prof. Ohshima		海上におけるLTE通信特性を考慮した多重経路通信制御の研究	1954010	M2	黒田 英明	大島 浩太	清水 悦郎 吉岡 諭
10:00-10:30 Webex hosted by Prof. Ohshima		長距離データ通信により耐障害性を向上した階層型無線センサネットワークの研究	1954005	M2	川口 秀一	大島 浩太	田原 淳一郎 吉岡 諭 清水 悦郎
10:45-11:15 Webex hosted by Prof. Ohshima	関口 美保	Wi-Fi RTTを用いた2次元測位精度向上方式の提案と屋内ナビゲーションへの応用	1854017	M2	桐谷 公基	田原 淳一郎	章 ふえいふえい 大島 浩太 小池 雅和
11:15-11:45 Webex hosted by Prof. Ohshima		AIを活用した船舶用障害物検知システムの開発	1954024	M2	箱崎 勝也	清水 悦郎	大島 浩太 古谷 雅理
11:45-12:15 Webex hosted by Prof. Ohshima		波浪中におけるムーンプール付き浮体の運動特性に関する基礎的研究	1954001	M2	石川 美希	大澤 弘敬	清水 悦郎 増田 光弘 田原 淳一郎
13:00-13:30 Webex hosted by Prof. Ohshima	小池 雅和	パルス間隔を利用した水中音響通信における反射波の影響	1954008	M2	熊谷 卓也	越智 寛	清水 悦郎 田原 淳一郎
13:30-14:00 Webex hosted by Prof. Ohshima		音響を活用した遠隔自動操船支援システム開発のための基礎研究	1954020	M2	星野 安泉	清水 悦郎	岡崎 忠胤 田原 淳一郎
14:00-14:30 Webex hosted by Prof. Ohshima		自動運航船用モジュール型操船ソフトウェアの開発	1954007	M2	木村 英雅	清水 悦郎	田原 淳一郎 大島 浩太
14:30-15:00 Webex hosted by Prof. Ohshima		サーフボードを用いた自律型航行体の開発及び利用についての検討	1954006	M2	川村 大和	田原 淳一郎	清水 悦郎 章 ふえいふえい
15:15-15:45 Webex hosted by Prof. Ohshima	大島 浩太	ウニ駆除ROVシステムの開発	1954013	M2	孫 汶成	田原 淳一郎	小池 雅和 章 ふえいふえい
15:45-16:15 Webex hosted by Prof. Ohshima		ウニ回収ROVの自動制御に向けたコントロールシステム開発	1954003	M2	伊藤 魁	田原 淳一郎	章 ふえいふえい 小池 雅和
16:30-17:00 Zoom hosted by Prof. Tahara	章ふえいふえい	Development of DP system for mud collecting ASV (採泥用ASVの定点保持システムの開発)	1954004	M2	加藤 哲	田原 淳一郎	章 ふえいふえい 許 哲(上海海洋大学)

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。

主催：海洋システム工学専攻 機械・動力系

開催日時：令和2年2月16日（火）

時間	司会	論文題目	学籍番号	年次	氏名	主指導教員	副査
9:00-9:30 ZOOM hosted by Prof. Osakabe	地下 大輔	水平ヘッダー 垂直枝管機構における気液二相流 の液相分配量均一化に関する研究	1954016	M2	長島 龍太	刑部 真弘	塚本 達郎 波津久 達也
9:30-10:00 ZOOM hosted by Prof. Osakabe		音響解析による機器稼働状態の判別に関する研究	1954017	M2	野尻 顕暉	刑部 真弘	塚本 達郎 波津久 達也
10:00-10:30 ZOOM hosted by Prof. Osakabe		機械学習を用いた垂直管を流れる気液二相流の流 動様式判別	1954011	M2	小菅 哲	刑部 真弘	塚本 達郎 地下 大輔
10:45-11:15 Webex hosted by Kifune	木船 弘康	静電集塵による船用ディーゼル機関のPM低減に 関する研究 - 静電集塵装置の放電特性 -	1954002	M2	井田 純平	塚本 達郎	佐々木 秀次 木船 弘康
11:15-11:45 Webex hosted by Kifune		カーボンナノチューブを用いた平行平板電極コル チゾールバイオセンサの性能向上	1954019	M2	藤城 志遥	大貫 等	和泉 充 吉岡 諭
13:00-13:30 Webex hosted by Kifune	國吉 直	液体架橋破断に伴い生成される微小液滴 ～逆ミ セル状液滴の生成～	1954009	M2	熊澤 壮良	田中 健太郎	岩本 勝美 藤野 俊和
13:30-14:00 Webex hosted by Kifune		R1234ze (E)のプレートフィン熱交換器内における 蒸発 凝縮流動伝熱特性	1954012	M2	杉原 弘太	井上 順広	地下 大輔 波津久 達也
14:00-14:30 Webex hosted by Kifune		積層型マイクロチャンネル熱交換器における单相 および凝縮伝熱特性評価	1954014	M2	高林 遼太郎	井上 順広	地下 大輔 波津久 達也
14:30-15:00 Webex hosted by Kifune		水平壁乱流境界層内における気液二相流動のモデ リング	1954015	M2	湯 新広	波津久 達也	井原 智則 地下 大輔

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。

海運ロジスティクス専攻 修士学位論文発表会 プログラム

主催：海運ロジスティクス専攻

開催日時：2021年2月9日（火）、2021年2月10日（水）

開催方法：Zoom利用 ※申し込みは shenmi0@kaiyodai.ac.jp まで

2021年2月9日（火）

	時間	論文題目	学籍番号	年次	氏名	主指導教員	備考
1	0900～0930	人間重心検知による歩行時の特性と疲労指標に関する研究	1955008	2	小日向 理早	渡邊 豊	
2	0930～1000	商品の出荷頻度と在庫量を考慮したピッキングにおける動管と補管の区分けに関する研究	1955010	2	趙 保樑	黒川 久幸	
3	1000～1030	倉庫における作業音分析に関する研究	1955014	2	野崎 虹希	黒川 久幸	
4	1030～1100	需要予測におけるニューラルネットワークの活性化関数の選定に関する研究	1955018	2	李 子揚	黒川 久幸	
5	1100～1130	2次元画像の奥行き促進効果に関する研究 —3D酔いの軽減を目指して—	1855011	2	董 佳星	下野 孝一	
6	1130～1200	Deep learnig for preconditioned conjugate gradient methods (前処理付き共役勾配法に対するディープラーニング)	1955019	2	呂 芳思	関口 良行	
-	昼休み						
	時間	論文題目	学籍番号	年次	氏名	主指導教員	備考
7	1300～1330	北太平洋亜熱帯モード水海域における冬季海面水温偏差の再出現	1955002	2	秋元 七海	小橋 史明	
8	1330～1400	宿泊旅行統計を用いた観光の諸特性に関する研究	1955009	2	相馬 大	兵藤 哲朗	
9	1400～1430	長大車両を考慮した強化学習による高速道路の合流挙動モデルの開発	1955013	2	西崎 省伍	兵藤 哲朗	
10	1430～1500	物流から見た群馬県内の企業動向について	1955017	2	吉澤 翼	兵藤 哲朗	
11	1500～1530	船舶の自動離着舷におけるGNSSの活用手法の研究	1955001	2	青木 京平	久保 信明	

海運ロジスティクス専攻 修士学位論文発表会 プログラム

12	1530～1600	GNSSスプーフィングの検知手法の研究	1955007	2	小林 海斗	久保 信明	
13	1600～1630	低コストIMUとドップラーソナーを用いた複合航法に関する基礎的研究	1955015	2	八田 大典	久保 信明	

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。

2021年2月10日（水）

	時 間	論文題目	学籍番号	年次	氏 名	主指導教員	備 考
14	0830～0900	ROVによる水中調査に関する研究	1555002	2	安倍 航佑	近藤 逸人	
15	0900～0930	水中ロボット用低速ウォータージェット推進機構の開発 — 流路の高さと角度に関する実験的考察 —	1855007	2	佐藤 紀之	近藤 逸人	
16	0930～1000	CREAMを適用したDP船の事故分析手法に関する研究	1855004	2	片倉 広暁	竹本 孝弘	
17	1000～1030	船員災害の発生要因分析に関する研究	1855019	2	奥平 啓太	竹本 孝弘	
18	1030～1100	港内における自律型浅瀬検知ロボットの開発	1955004	2	伊藤 りりか	岡崎 忠胤	
19	1100～1130	デジタル時代における航海士の必要な知識 — タイ海事教育に対する最適なカリキュラムの研究 —	1955012	2	NARUPHUN CHOTECHUANG	國枝 佳明	
20	1130～1200	OpenFOAMによる水中翼性能実験の評価に関する研究	1955016	2	山下 航輝	井関 俊夫	

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。

食品流通安全管理専攻 学位論文公开发表会 プログラム

主催：食品流通安全管理専攻

開催日時：令和3年2月6日（土）

開催方法/場所：ZOOM利用

参加登録方法 以下のサイトで登録してください。

<https://bit.ly/3quts1K>

令和3年2月6日（土）

時間	論文題目	学籍番号	年次	氏名	主指導教員	副査
10:00～10:30	耐塩性糸状菌 <i>Pestalotiopsis</i> sp. SN-3を用いた染料および重金属の複合浄化に関する研究	1956008	2	フシミ マユ 伏見 麻由	濱田 奈保子	岡井 公彦 田中 祐志
10:35～11:05	麹菌 <i>Aspergillus oryzae</i> 001を用いて発酵した低等級ヒダカコンブの血圧上昇抑制物質に関する研究	1956010	2	マエダ ユウシ 前田 悠志	濱田 奈保子	永井 宏史 井上 泉
11:10～11:40	通電加熱がホタテガイのアレルゲン性に及ぼす影響	1956002	2	キムラ コウキ 木村 広輝	濱田 奈保子	福岡 美香 嶋倉 邦嘉
11:45～12:15	魚類主要アレルゲンパルブアルブミンのIgE結合エピトープの解析	1956005	2	ナカダ アユミ 中田 絢弓	濱田 奈保子	嶋倉 邦嘉 井上 泉
12:15～13:00	昼休み					
13:00～13:30	障害者施設におけるHACCP導入の課題と対策	1956007	2	フジノ マサヤ 藤野 柁也	小川 美香子	濱田 奈保子 中川 雄二
13:35～14:05	食物アレルギー表示に対する中国消費者の認識	1856013	2	ジューパ カンベック 菊帕 歆貝克	小川 美香子	濱田 奈保子 中川 雄二
14:10～14:40	雲南省におけるコーヒー生産地の現状と品質向上の取り組み	1856012	2	カン ショウハク 康 暁白	小川 美香子	濱田 奈保子 婁 小波
14:45～15:15	サンマ干物に起因するヒスタミン食中毒に関する研究	1956006	2	ナツメ ミナミ 夏目 弥波	濱田 奈保子	高橋 肇 木村 凡
15:20～15:50	食品安全チームリーダーの役割に関する研究	1756006	2	タナカ ケイコ 田中 景子	小川 美香子	濱田 奈保子 中川 雄二
15:55～16:25	味覚識別能力の向上を目的とした訓練方法の構築	1956013	2	ヤナギサワ タツオ 柳澤 達男	小川 美香子	柴田 真理朗 濱田 奈保子
16:30～17:00	食料品製造業でのHACCP制度化をめぐる中小企業の財務上の課題と経営展望	1956011	2	ミヤタケ ノリユキ 宮武 憲行	中川 雄二	小川 美香子 濱田 奈保子 井上 泉

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。